

# 政策シート

(政策名) 地域の文化遺産の保全・活用

(予算費目名) 博物館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
  - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

## ◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

### ◇政策の概要

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図ります。
- ⑤国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある史跡公園にするため再整備に着手します。

### ◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費				
-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	124,845	151,057	106,163	93,673	92,367
決算	124,601	121,922	91,607	82,385	
人件費(A)	83,200	86,000	87,000	87,000	87,000
報酬(B)	144	144	144	190	190
年間経費(予算又は決算+A+B)	207,945	208,066	178,751	169,575	179,557

### ◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
博物館の年間観覧者数	人	71,000	目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000
			実績	73,876	80,743	79,692	70,237	
分館における展覧会開催数	回	15	目標	10	10	10	10	12
			実績	14	13	16	13	
			目標					
			実績					

### ◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充します。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めます。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進します。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図ります。

### ◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

博物館の照明設備取替工事等や、伊場遺跡公園のエントランス改修工事等、蜷塚公園の復元家屋茅葺改修工事等を実施し、博物館来館者や公園利用者が安全に博物館や史跡を見学できるよう学習環境の整備を進めました。特別展「浜松の染色の型紙」を開催し郷土の歴史資産の公開に努めました。また、テーマ展「郷土玩具趣味」「いにしへの文字と浜松」「1/6の日進月歩」「博物館ができたころ」を開催し、浜松地域の歴史文化の普及発展に努めました。収蔵資料のデジタル化やアーカイブ化を進め、また、質の向上を目指します。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	博物館運営事業	○	○			68,266	46,596	1.7	0.6		0.9	190
2	遺跡公園運営事業	○	○			32,886	24,446	0.8	0.4			
3	博物館展示会開催事業	○	○			29,765	11,125	2.4	0.2		0.4	
4	学習会開催等連携事業	○	○			30,939	4,659	2.6	0.3		2.5	
5	博物館資料調査収集活用事業					24,181	5,541	1.5	0.5		2.2	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						186,037	92,367	9.0	2.0		6.0	190

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 博物館運営事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持します。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与します。

### ◇事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行います。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	○		○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	75,908	94,739	52,802	41,226	46,596
	決算	75,908	68,404	47,652	37,798	
	国・県支出		3,210			
	市債					
	その他	5,349	7,430	6,429	5,157	6,583
	一般財源	70,559	57,764	41,223	32,641	40,013
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)		144	144	144	190	190
人件費 (千円)		18,260	16,860	18,260	16,580	21,480
人工	正規	1.7	1.7	1.7	1.7	2.4
	再任用(h31)	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h26)					
	非常勤	1.5	1.0	1.5	0.9	0.9

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

・歴史学習を支援する機能を維持し、文化創造に寄与する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
施設管理状態に対する満足度 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	90	90	90	90	90	90	90	
実績値	90	90	90	90				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行います。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成30年度の利用状況及び業務の執行状況は次のとおりです。

博物館では第4収蔵庫及び事務室照明器具取替工事、2階男子トイレ衛生器具修繕工事、フロアコンセント修繕工事、1階トイレ照明器具修繕工事、加圧給水ポンプ圧力タンク取替修繕工事、換気扇等修繕工事、倉庫等照明器具修繕工事、収蔵庫内引戸修繕工事、2階電気設備修繕工事、防火戸自動閉鎖装置修繕工事、アプローチライト修繕工事、展示ケース錠前修繕工事、収蔵庫煙感知器修繕工事等を実施し、水窪民俗資料館では水道管布設替工事、自動給水ユニット更新工事、トップライトシーリング工事を実施し、姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館では機械室送風機修繕工事、照明ルーバー修繕工事を実施したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持できたものと考えます。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

本年度は、博物館の照明器具等の取替工事などにより施設機能が改善し、来館者の安全、収蔵資料の保全が確保されました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していきます。

## 事業シート (事業名) 遺跡公園運営事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持します。これにより、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図ります。

### ◇事業の概要

・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行います。  
 ・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行います。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例	○		○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	26,667	32,788	31,426	31,041	24,446
	決算	26,667	32,921	29,609	28,689	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	26,667	32,921	29,609	28,689	24,446
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		8,440	8,440	8,440	7,040	8,440
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0
	再任用(h31)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.5		

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・歴史公園としての機能を維持し、貴重な歴史的文化遺産の保護と活用を図ります。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
公園整備件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	6	6	6	6	6	6	6	
実績値	9	9	11	7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行います。
- ・復元家屋ほかの屋外展示物や園路の補修工事など、遺跡公園の整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施しました。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として復元家屋茅葺改修工事、管理道設置工事、住居跡鉄骨建屋塗装等修繕工事、中央ゾーン園路手すり設置工事、西ゾーン支障木剪定工事、トイレ小便器自動洗浄装置修繕工事、公園内電線等修繕工事を行いました。伊場遺跡公園整備・修繕として、エントランス解体造成整備工事、エントランス樹木伐根工事、エントランス側溝改修工事、トイレ配管修繕工事、ベンチシート撤去工事、環濠土塁補修工事、石碑塗替工事、保存用地フェンス設置工事を行いました。以上により、蜷塚公園ならびに伊場遺跡公園内にある建物・園路等が修繕され、来園者にとって浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある公園を維持できました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

公園内の復元家屋の茅葺屋根改修や、高木の剪定、トイレ修繕により、公園の若返りを図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蛸塚公園及び伊場遺跡公園について、長寿命化に向けて、修繕整備と維持管理に努めていきます。

また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていきます。

## 事業シート (事業名) 博物館展示会開催事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出します。また、観光や学習等で浜松を訪れる人びとに、地域の個性ある歴史文化を紹介します。

### ◇事業の概要

#### 常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行います。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催します。

#### 巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示します。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催します。

#### 特別展開催事業

- ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介します。
- ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産を、市民の目に触れる機会をつくれます。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
8641	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	14,073	13,290	12,168	11,075	11,125
	決算	11,894	11,407	7,830	8,641	
	国・県支出					
	市債					
	その他	2,261	1,273	897	2,471	1,661
	一般財源	9,633	10,134	6,933	6,170	9,464
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		19,420	19,420	18,220	18,640	18,640
人工	正規	2.7	2.7	2.5	2.4	2.0
	再任用(h31)			0.2	0.2	0.2
	再任用(h26)	0.2	0.2			
	非常勤				0.4	0.4

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6, 6.b	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

- ・博物館や分館の展示会等を通じて、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供する。
- ・展示会を通じて、文化遺産や自然遺産などの保護保全の啓発活動を高めていく。
- ・常設展示や展示会の開催により、地方文化を創出していく持続可能な観光業を促進する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
特別展及びテーマ展における来館者数 (人)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000	
実績値	44824	48913	47006	43,442				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
特別展及びテーマ展の平均満足度 (%)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	90	90	90	90	90	90	90	
実績値	91.7	90.1	90.5	92.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
市民協働産学連携による展示会の開催 (件)					-			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2	3	3	3	3	3	5	
実績値	5	5	5	5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行いました。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催しました。

巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館等に巡回展示しました。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催しました。

特別展開催事業

- ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介しました。
- ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産を、市民の目に触れる機会をつくりました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成30年度の事業執行状況は次のとおりです。①テーマ展として「郷土玩具趣味」「いにしへの文字と浜松」「1/6の日進月歩」「博物館ができたころ」、小展示「道具たちの百年」「社会科自由研究優秀作品展」「干支展猪口と亥」などを開催しました。「郷土玩具趣味」では浜松張子や各地の郷土玩具などを展示をしました。「いにしへの文字と浜松」は浜松の奈良平安時代を物語る県指定文化財の伊場木簡や墨書土器の展示を行いました。「1/6の日進月歩」は明治から昭和にかけての世相を物語るすごろくを中心とした展示を実施しました。「博物館ができたころ」は博物館が開館した40年前の浜松の様子を当時の写真や復元した模型を使い展示をしました。②巡回展として「天竜川の治水」「干支展」「1/6の日進月歩」などの本館開催の展示を分館で行ったり、「錦絵展」など分館だけの展示を実施し、遠方の市民のみなさんに観覧していただきました。③特別展は浜松の繊維産業を支えた染色について寄贈いただいた染色資料を中心に「浜松の染色の型紙」を開催し、浜松の産業史について紹介しました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

市民が関心を持つ展示会を開催しました。省庁・市内外の文化施設・大学等研究機関・学校教育機関等との相互協力や、コレクター・市民ボランティアの参加などにより、地域の歴史遺産の掘り起こしや、個性ある地域文化の発信の場を提供できました。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

博物館・分館・市内の展示施設等において、それぞれの施設の置かれた地域の資料を取り入れた新しい展示企画を進めていきます。

また、博物館は諸機関・施設・団体等と連携して、市民協働による展示会を開催していきます。

## 事業シート (事業名) 学習会開催等連携事業

### ◇事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指します。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供します。

### ◇事業の概要

#### 講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催します。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催します。

- ・ボランティア養成のための講座を開催します。
- ・ボランティアと協働で事業を展開していきます。

#### おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行います。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行います。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけます。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,476	5,385	5,382	5,140	4,659
	決算	3,249	4,766	4,589	4,513	
	国・県支出					
	市債					
	その他		1,960	2,404	2,122	2,000
	一般財源	3,249	2,806	2,185	2,391	2,659
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		23,180	24,580	24,880	26,280	26,280
人工	正規	2.4	2.4	2.6	2.6	2.3
	再任用(h31)			0.3	0.3	0.3
	再任用(h26)	0.3	0.3			
	非常勤	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4, 12.5, 12.b
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6, 6.b	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・講座の開催や体験活動の学習環境の提供により、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供し、持続可能な観光業の促進を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
新たな体験メニューの開発 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3	3	3	3	3	3	5	
実績値	3	5	5	5				
博物館ボランティアの年間参加者数 (人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1,000	1,000	1000	1000	1000	1000	1,300	
実績値	368	310	617	609				
学校への教材利用件数 (点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1,600	1,600	1600	1600	1600	1600	1,900	
実績値	928	1364	1825	1135				
新たな体験メニューの開発 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
博物館ボランティアの年間参加者数 (人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

講座・体験館等開催事業  
 ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催しました。  
 ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催しました。  
 ・ボランティア養成のための講座を開催しました。

おでかけミュージアム開催事業  
 ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行いました。  
 ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、積極的に行いました。  
 ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけました。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
 計画通り

平成30年度の事業執行状況は次のとおりです。①春休み体験館では「昔のおもちゃで遊ぼう」「勾玉づくり」等、昭和レトロな博物館では「しじみ屋」「昭和のあそび」等、大昔サバイバルツアーでは「原始時代の生活体験」、夏休み体験館では「縄文キーホルダーづくり」「埴輪づくり」「万華鏡づくり」等を開催しました。また、古民家の旧高山家を利用して、昔の食事作りを体験してもらいました。②旧高山家では、月1回ボランティア団体の協力で「かや葺屋根の下で聞く日本昔話」を開催し、常連の方をはじめ多くの親子が参加しています。③学校移動博物館では市内各区の小学校10校を訪問し、博物館資料の展示と体験講座を実施し、教材用の博物館資料の貸出を行いました。また、授業や校外学習で博物館を利用していただくため、教員向けの博物館利用講座を開催しました。④平成30年度の「博物館の逸品まちかど陳列事業」は佐久間病院・雄踏町郷土資料部・都田図書館などで開催し多くの方に博物館資料を見学していただきました。⑤出前講座は14件開催され、学芸員が自治会、老人会、郷土史研究団体で自然災害史を中心に話をしました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

通常の展示会ではできない体験型や伝統文化を受け継ぐ催しを開催して、市民の歴史文化への興味付けや、博物館観覧者と事業参加者のリピーターの増加を計ります。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

市内各地域との連携を深めて博物館のアウトリーチ事業を積極的に行います。新しい団体や機関との協働や連携を視野に入れて、様々な事業展開を考えます。博物館が近くに無い地域への展示公開事業の補完や、博物館の認知度を高めるため、アウトリーチ事業を広く展開していきます。また、事業の拡大に伴い地域で活動するボランティアや団体への支援を行います。

## 事業シート (事業名) 博物館資料調査収集活用事業

### ◇事業目的・事業対象

浜松の歴史文化遺産を広く調査収集し保存することが目的です。そしてこれらの歴史文化遺産により、過去の浜松の営みを市民に紹介するとともに、現在の生活文化を将来の浜松市民に伝えてゆくことも博物館の使命です。

### ◇事業の概要

#### 1. 資料の調査収集事業

- ・考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管します。
- ・新たな資料の情報が寄せられれば、調査しデータを収集します。
- ・収集資料と保管施設は、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持します。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図ります。

#### 2. 電子データ作成公開事業

- ・16万点に及ぶ博物館収集資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開します。
- ・収集資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開します。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,721	4,855	4,385	5,191	5,541
	決算	6,883	4,424	1,927	2,744	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	6,883	4,424	1,927	2,744	5,541
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		13,900	16,700	17,200	18,460	18,640
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.5	1.3
	再任用(h31)			0.5	0.5	0.5
	再任用(h26)	0.5	0.5			
	非常勤	1.0	2.0	2.0	2.2	2.2

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.4, 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.1, 4.2, 4.5, 4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・地域の歴史文化遺産を調査・保存することにより、文化遺産・自然遺産の保護保全を行う。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
新着資料の公開件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	10	10	10	10	10	10	10	
実績値	6	2	8	7				
-----								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
収蔵資料台帳の整備件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100,000	100000	100000	100000	100000	100000	100,000	
実績値	69840	77133	79489	80594				
-----								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
収蔵資料台帳の公開件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	10,000	10000	10000	10000	12000	12000	20,000	
実績値	10755	11721	11721	11721				
-----								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
-----								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
-----								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
-----								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 資料の調査収集事業
  - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管します。
  - 新たな資料の情報が寄せられれば、調査しデータを収集します。
  - IPM(総合的有害生物管理)コーディネーターを養成し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めます。
  - 収蔵資料と保管施設は、IPMの考え方により日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持します。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図ります。
- 電子データ作成公開事業
  - 16万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開します。
  - 収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開します。
  - 蜷塚遺跡、伊場遺跡ほかの発掘調査を記録したフィルムをデジタル化し、保存と活用を図ります。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- 計画通り
- 絵図「天竜川絵図」など、浜松の歴史を展示するために必要な資料、4件5点を購入し、テーマ展で公開活用しました。  
資料収集については、寄贈または購入により随時行っており、収集の目標は達成できました。
  - IPMコーディネーターは有資格者1名で、常設展や特別展などで防虫防カビ、温湿度管理を行いました。
  - 収蔵資料台帳の整備とデジタル公開については現在、計画より時間がかかると予想されます。本館・分館の収蔵資料の全てを整備するまで事業を継続する必要があります。
  - 蜷塚遺跡と伊場遺跡の発掘調査の映像フィルム3本、ポジフィルム584枚のデジタルデータ化と、フィルムを適切に保管するための空気環境調査を実施しました。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

収蔵資料のデータベース化とデジタル公開を、よりスピーディーに、またより高品質なものにしていく必要があります。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

本館と分館の収蔵資料を確実に後世に伝えるとともに、有効に活用するため、収蔵庫の確保、資料の分類・収納とデータベース化を進めていきます。監査から収蔵資料のデータベース化とデジタル公開を早急にすすめること、質の高い画像及び歴史的価値付けの充実を計るようにと指摘がされています。また、文化財IPMの知識・技能の普及にも努めます。